

**2019年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科 国際社会科学科 2年（留学年次） 2年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  トリノ大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。  2019年 10月 1日 ～ 2020年 3月 9日 出国日 2019年 9月 23日 最終帰国日 2020年 3月 11日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

目標の一つであった社会科学関連の科目に限らず、語学の科目なども履修することができたことはよかったですと考えます。また留学当初はイタリア語を話せないことから不安が大きありましたが、積極的に外出をして会話に困ったときは翻訳アプリやジェスチャーを使用して会話をできたことから何事も挑戦してみようと感じられました。

### (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

上記に翻訳アプリなどを活用して会話をしたことを記載しましたが、イタリア語で会話ができる方が幅広く交流の場を増やすことができるのでイタリア語の学習をもっとしておくべきだったと思いました。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

私は英語で開講されている科目を履修しましたが、学部や時期によって英語開講科目の数が異なるので細かく情報をチェックすることが重要になります。社会科学関連の授業は大規模な授業で、多くのゲスト講師を呼び多岐に渡る分野をカバーしていたことからスケジュールの中から必要分だけを履修することもありました。レポート評価の科目だったので、一科

目の中で特に関心のある分野を学習するスタイルは斬新だと感じられました。

イタリア語の授業はクラスの方針でかなり異なり、イタリア語で授業を進める先生や英語でイタリア語を教えてくださいと先生もいました。そのため、クラスを途中で変更する人もいました。個人のレベルや授業のスタイル、履修状況などから、どのイタリア語のクラスを履修するのかを多くの選択肢から選ぶことができました。

また、他学部であるマネジメント学部では午前中に授業を行い、午後からは補足や質疑応答の授業をするという1日がかりの科目もありました。その分短期間で授業が終了しテストを受けるため、積極的に質問をして問題点を残さないように努めました。

## (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパスは街全体のあらゆる場所にあり、学部によって建物や周辺の雰囲気は異なります。私がメインで履修をしていた学部のキャンパスは現代的な建物で中も広々としていました。そのため留学当初は教室を探すのに迷うこともありました。また食堂などの施設も学内に設備しており、2限終了後に友人とお昼を一緒に食べる機会もありました。他学部のキャンパスはメインのキャンパスからバスで30分ほど離れており、中心街からは少し外れていました。そのキャンパスは規模が小さく、平屋のように長く1階建てとなっていました。教室の規模も50人程度と小さめの部屋が多く、授業も比較的少人数で行われていました。その分、先生に質問に行きやすいという面もありました。

## (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

半期ごとに留学生を対象とした大学が開講しているイタリア語の授業があり、3段階のレベル別に設置されていました。初級以外の中級、上級のクラスを履修したい場合は、開講前に行われるテストに合格しなければなりません。授業時間は18時から20時の約2時間で、週2回行われました。半期に初級の10クラスが各曜日に開講されているので、どのクラスを選ぶのかは自分の履修状況と照らし合わせて応募します。内容は各クラスの先生方によってテキストや内容が違うので、かなり異なります。私の場合、最初はイタリア語で解説をしながら進めるクラスにいましたが難しかったため、英語で解説をするクラスに変更をしました。後者の授業では毎回日付や曜日の確認から始まり、新しい文法や単語を学ぶことをメインとする内容でありました。テストは中間と最終の2回行われ、中間では単語の変化の確認や基本的な会話の受け答えを書きました。最終テストでは、中間を含んだ内容に加えて、中間以降に学んだ文法やメールの書き方などを問われました。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面のサポートは到着後の大学主催のオリエンテーションで説明され、具体的には定期のチャージや滞在中の申請書類の手続き方法などのレクチャーがありました。公的機関

の職員全員が英語で対応するとは限らないので、留学生の中にはバディをお願いして一緒に申請をする人もいました。またトリノ大学にいる留学生や、日本に留学に来たことのあるイタリア人学生、相部屋のルームメイトにもサポートやアドバイスをしてもらいました。トリノでは月に1, 2回程公共交通機関のストライキがあり、その時間は利用できるバスや路面電車の本数が通常よりかなり限られます。その時は交通機関のウェブサイトに掲示される場合もあるので確認をすることや、主要駅からであれば出ているバスなどがあることなど対応方法を教わることもありました。

留学生向けのイベントはオリエンテーション後の食事会や街中を観光する半日ツアーや食堂でのハロウィーン（学生や一般の方も）などがありました。

**資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。**

学生寮を運営する会社が募集している奨学金制度があります。この奨学金制度では、滞在中の寮費が全額保証されます。興味のある方は募集要綱を確認してみてください。

**(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。**

周辺は落ち着いた地域で、中心部から徒歩で10分から15分ほど離れた場所にあります。昼間は学生が多く行きかう感じではありましたが、夜は少し歩いたところにレストランなどがあったため夜も明かりがある街で、一人で歩いても問題はありませんが安全のために複数人で出歩くようにはしていました。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Region Europe (3)	International Migration (2)
同上	Sociology of Population (2)
Corsi di Lingua Italiana per studenti ERASMUS (5)	イタリア語 (2)
Lingua Cinese per L'Economia e le Relazioni Internazionali (9)	中国語 (2)
Private Law (6)	申請なし

### 3. 宿舎について

#### (1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

#### (2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 450 ユーロ 、(日本円) 約 5万6千円

#### (3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ( )

#### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 2,3 分

#### (5) 感想、良かった点・悪かった点

寮は24時間職員が常駐し、ジムや食堂など設備も整っていた。立地が中心部から少し離れていたため、他学部の授業を受けに行く際は移動に乗り継ぎが必要となった。

### 4. 費用について

#### (1) 学 費

(現地通貨) 約 0 ユーロ 、(日本円) 約 0 円

#### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ( )、(日本円) 約 16万5千円

#### (3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 900 ユーロ・10000 ユーロ 、(日本円) 約 10万円・120万円  
※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

#### (4) 費用の持参方法

国際キャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ( Visa トラベルプリペイドカード )

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点  
問題なく使用することができました。

#### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

支出内容：緊急帰国時の旅費  
金額：約 13 万円

### 5. 保険について

#### (1) 保険会社名

三井住友海上

#### (2) 保険料

664,680 円

### (3) 加入した保険の種類、内容

ベーシックプラン、契約タイプ：T63

学部の規定である治療・救援費用1億円以上」および「賠償責任1億円以上」、また、イタリア領事館の規定である全期間をカバーする治療救援費用が無制限(但し、無制限の設定が無い保険会社の場合は、補償額がその保険会社が持つ最高額のもの)に適する内容

### (4) 感想、良かった点・悪かった点

特にありません。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（                    ）

### (2) 持って行って良かったと思う物

日本のお菓子（ルームメイトにプレゼント）、個包装のお茶

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

服（1週間分程度など最低限にするのがよい）、本（テキストなど数冊程度でよい）

### (4) 持って行けば良かったと思う物

思ったより風邪が長引き持参していた1週間分の薬を使い切ったので、風邪薬（2週間分程度）を用意することをおすすめします。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

8時起床、午前中授業、昼食、

午後授業（授業ない日は課題をする）、帰宅後ルームメイトと話すなどゆっくりする、夕食、課題、就寝

### (2) 週末

9時起床、午前中はゆっくりする、昼食、

午後買い物、課題、夕食、休憩、就寝

## 8. 後輩へのアドバイス等

イタリア語の勉強（特に会話）をすることで受講可能な授業なども増え、交流の幅も広がると思います。また、イタリア語で話せた方がお店の方との会話や生活も過ごしやすと考えます。イタリア語は英語とは異なる点もありますが、類似している単語もあり勉強しやすい面もあるので頑張ってください。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。